

# 社会資本総合整備計画

こくらとしんちく  
小倉都心地区(第3期)都市再生整備計画

平成31年 1月 30日

ふくおか 福岡県 きたきゅうしゅう 北九州市

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成31年 1月 30日

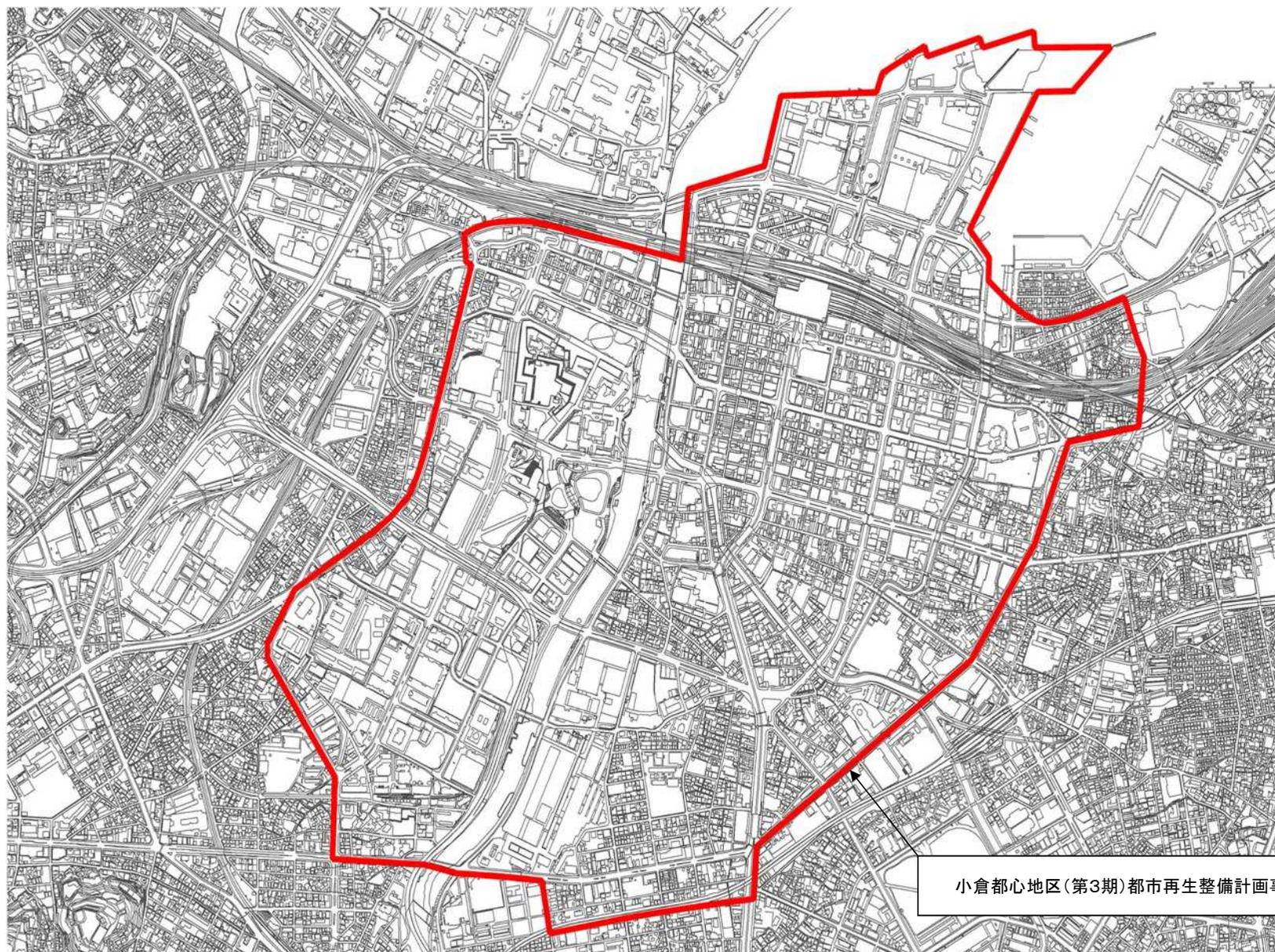
計画の名称	小倉都心地区（第3期）都市再生整備計画										重点配分対象の該当	○					
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度（5年間）					交付対象	北九州市										
計画の目標	<p><b>大目標：</b> 小倉都心部の魅力を高め、集客活性化を図るため、北九州200万都市圏の中核に相応しい高次な都市機能の充実と、都心部の賑わいづくりを推進する。</p> <p>目標1 個性的な魅力により多くの人を惹きつける、賑わいのある都心をつくる。</p> <p>目標2 都心部内の回遊を促進していくことで、まち全体への賑わいの面的な拡大を図る。</p> <p>目標3 遊休不動産などを有効活用していくことで、昼間人口の増加等によるまちの活力向上を図る。</p> <p>目標4 様々な交通手段により、都心部に円滑にアクセス可能な交通環境の形成を図る。</p>																
計画の成果目標（定量的指標）	<ol style="list-style-type: none"> <li>商店街エリアを中心とした歩行者通行量を145,000人/日（H24）から156,200人/日に増加</li> <li>小倉都心部への来街者の平均立ち寄り地区数を2.37地区/人（H24）から3.02地区/人に増加</li> <li>小倉都心部における平均空き店舗率を10.8%（H24）から8.6%に改善</li> <li>小倉都心部におけるJR・モノレール駅、市営渡船場の年間利用者数を4,099万人/年（H24）から4,145万人/年に増加</li> <li>小倉都心部における観光客数を565.9万人/年（H27）から638万人/年に増加</li> <li>夜間景観整備エリアを中心とした夜間の歩行者通行量を6,423人/日（H29）から6,746人/日に増加</li> </ol>																
定量的指標の定義及び算定式											定量的指標の現況値及び目標値		備考				
											当初現況値	中間目標値		最終目標値			
											(H24年度)		(H30年度)				
	1. 商店街エリアを中心とした歩行者通行量（人/日）										145,000	—	156,200				
	2. 小倉都心部来街者の平均立ち寄り地区数（地区/人）										2.37	—	3.02				
	3. 小倉都心部における平均空き店舗率（%）										10.8	—	8.6				
	4. 小倉都心部におけるJR・モノレール駅、市営渡船場の年間利用者数（万人/年）										4,099	—	4,145				
	5. 小倉都心部における観光客数（万人/年）										565.9 (H27年度)	—	638.0				
	6. 夜間景観整備エリアを中心とした夜間の歩行者通行量（人/日）										6,423 (H29年度)	—	6,746				
全体事業費	合計 (A+B+C+D)		3518.9百万円	A	3518.9百万円 (うち提案事業分 502.3百万円)	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%				
<b>交付対象事業</b>																	
<b>A 基幹事業</b>																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30				
1-A1	都市再生	一般	北九州市	直接	北九州市	小倉都心地区（第3期）都市再生整備事業 (社会資本整備総合交付金分)	道路 975m 道路景観整備等	北九州市						3,518.9			
													合計	3,518.9			
<b>B 関連社会資本整備事業（該当なし）</b>																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30				
													合計				
<b>C 効果促進事業（該当なし）</b>																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									H26	H27	H28	H29	H30				
													合計				
<b>D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）</b>																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									H26	H27	H28	H29	H30				
													合計				

(様式第8)

# 社会資本総合整備計画 参考図面

平成31年 1月 30日

計画の名称	小倉都心地区(第3期)都市再生整備計画	交付団体	北九州市
計画の期間	平成26年度～平成30年度(5年間)		



交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	193.2	432.9	507.0	162.8	203.9
計画別流用 増△減額 (b)	0.0	10.0	0.0	0	0
交付額 (c=a+b)	193.2	442.9	507.0	162.8	203.9
前年度からの繰越額 (d)	0.0	70.9	131.0	146.1	76.4
支払済額 (e)	122.3	382.8	491.9	232.5	
翌年度繰越額 (f)	70.9	131.0	146.1	76.4	
うち未契約繰越額 (g)	42.9	44.7	74.2	73.2	
不用額 (h = c+d-e-f)	0.0	0.0	0.0	0	
未契約繰越+不用率 ( h = (g+h)/(c+d) )	22.2%	8.7%	11.6%	23.7%	
未契約繰越+不用率 が10%を超えている 場合その理由	小倉駅周辺交通アクセス環境整備事業において、関係地権者であるJR九州との協議により、工事の施工時期を調整する必要が生じ、年度内契約ができなかったため。		—	公共通路の天井の一部にJRの管理部分が存在し、経済性を考慮した同時期施工を実施するため、JR側と仮設工法、工事時間帯などの協議調整に不測の日数を要したため。	小倉城天守閣内の事業実施にあたり、施設営業への影響を加味し、平成30年度の閉館時期に併せて一括工事実施することになったため。

※平成26年度以降の各年度の決算額を記載

# 都市再生整備計画(第7回変更)

きたきゅうしゅう こくらとしん  
北九州市小倉都心地区

ふくおか 福岡県 きたきゅうしゅう 北九州市

平成31年 1月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	福岡県	市町村名	北九州市	地区名	小倉都心地区	面積	380 ha
計画期間	平成	26	年度	～	平成	30	年度
				交付期間	平成	26	年度
					～	平成	30
							年度

### 目標

**大目標：小倉都心部の魅力を高め、集客活性化を図るため、北九州200都市圏の中核に相応しい高次な都市機能の充実と、都心部の賑わいづくりを推進する。**

- |     |  |
|-----|--|
| 目標1 | 個性的な魅力により多くの人を惹きつける、賑わいのある都心をつくる。          |
| 目標2 | 都心部内の回遊を促進していくことで、まち全体への賑わいの面的な拡大を図る。      |
| 目標3 | 遊休不動産などを有効活用していくことで、昼間人口の増加等によるまちの活力向上を図る。 |
| 目標4 | 様々な交通手段により、都心部に円滑にアクセス可能な交通環境の形成を図る        |

### 目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

【小倉都心地区の現況】

- 小倉都心地区は、北九州市周辺を含む200都市圏の中核として、商業、業務・サービス、公共公益機能など、さまざまな高次の都市機能が集積する一方、紫川河畔は親水アメニティ空間が広がり、勝山公園周辺には小倉城をはじめ、歴史・文化的資産が多く存在している。
- 小倉駅周辺は九州の玄関口として、鉄道、道路、海上の多様な交通モードが結節しており、駅南北の再開発や駅の改築、駅前広場、ペDESTリアンデッキの整備などによって、交通結節機能と一体的な商業施設が立地している。また、駅北口には、コンベンション・ビジネス機能が集積している。
- 紫川周辺は、紫川マイタウン・マイリバー整備事業として、親水空間の整備や沿川の再開発などが進められて、大型集客施設が集積する河津一帯は北九州を代表する賑わいエリアになっている。
- 平成20年7月には「北九州市中心市街地活性化基本計画(小倉地区)」の認定を受け、小倉都心地区の賑わい、魅力、活力の向上のため、行政と民間事業者が一体となったまちづくりが進められてきた。
- 本地区の居住人口は増加傾向が続いており、歩行者数や地区内の駅乗降客数なども下げ止まり～回復基調が見られつつあるものの、依然として200都市圏の中核に相応しい賑わいの回復には至っていない。
- 北九州空港の国際定期便や大型クルーズ船の就航により、外国人観光客が増加しており、さらに北九州スタジアムのオープンに伴い小倉都心地区に市内外からの来訪者も増加している。
- 本市を訪れる国内外の観光客のうち、日帰り観光客の割合が、高い状況にある。
- 本市は平成28年1月に国家戦略特区として認定を受け、地域団体による道路空間(船場町1号線・6号線)を活用したイベント実施が可能となり、賑わいが生まれているがイベントスペースや憩える空間が不足している。

【一二期計画の実施による成果と課題】

- 紫川周辺では、親水空間の整備が進められ、勝山公園と一体となった魅力的なオープンスペースが形成され、多くの市民に憩いの場として活用されている。当該エリアは北九州を代表する景観へと変貌しており、今後も質の高い都市環境を形成していくことが求められる。
  - 市街地再開発事業と一体となった歩道の整備や、ペDESTリアンデッキに代表される高質な歩行空間の整備などにより、安全で安心で快適に歩ける歩行空間が確保された。今後、歩行者ネットワークのさらなる強化・拡充を図ることによって、まちの魅力や回遊性の向上を図る必要がある。
  - 継続的なイベントの実施や、良好な都市基盤の整備などにより、都市の魅力向上や良好な居住環境の形成などが図られてきているものの、さらなる賑わいの向上を図っていくとともに、賑わいを面的に拡大させ、まち全体に波及させていく必要がある。
- 【三期計画の実施にあたって】
- 二期計画とほぼ同時期に実施された「北九州市中心市街地活性化基本計画(小倉地区)」に基づく取り組みの効果もあり、これまで続けてきた都心部の衰退傾向に歯止めが分かり、回復に転じつつあることから、二期計画の成果を継続・拡大させていくための取り組みを進めている。
  - また、行政と民間事業者が一体となってまちづくりを進めていく体制も構築されてきており、引き続き官民が一体となって賑わい・活力の向上に向けた取り組みを進めていく。

### 課題

- ①都心部の衰退傾向には歯止めが分かりつつあるものの、引き続き200都市圏の中核に相応しい賑わいの形成を図っていく必要がある。
- ②人の流れが都心部内に特定エリアに偏る傾向が見られ、まち全体へと波及していないことから、都心部内の回遊をこれまで以上に促進していくことにより、賑わいの面的な拡大を図っていく必要がある。
- ③空き店舗率なども改善傾向となってきているものの、依然として都心部内には多くの遊休不動産が見られ、これらを有効に活用することで昼間人口の増加等によるまちの活力向上につなげていくことが望まれる。
- ④地区内の駅乗降客数は増加傾向に転じつつあるが、更なる公共交通の利用促進を進めていくとともに、公共交通に限らず、様々な交通手段で円滑に都心部にアクセスできる交通環境の形成を図っていく必要がある。
- ⑤小倉都心部で増加している外国人観光客や市内外からの来訪者の受入れ体制を強化し、さらなる賑わいづくりのため、イベントスペースや気軽に憩える空間を整備していく必要がある。
- ⑥小倉都心部において、観光客の滞在時間を延長し、宿泊を増加させることで、観光消費の拡大を図っていく必要がある。

### 将来ビジョン(中長期)

**北九州200都市圏の都心として、次世代に向けた都市圏の発展を先導していく、躍動的で魅力豊かなまちをつくる**

- 都心の魅力再生
  - ・公共交通やバリアフリー化をさらに充実させ、魅力ある店舗が集積する歩いて楽しいまちづくりを進める。(北九州市基本構想・基本計画)
- 都心のシンボル空間形成
  - ・北九州市の顔として魅力的な景観の形成を進め、水辺と緑を活かした潤いと文化の薫るまちづくりを進める。(北九州市基本構想・基本計画)
- 多様で充実した賑わいの形成
  - ・都心として、楽しむ場や働く場が充実したにぎわいのあるまちづくりを進める。(都市計画マスタープラン)
- 交通機能の充実
  - ・人や産業の交流が活発に円滑に行われる、交通機能の充実したまちづくりを進める。(都市計画マスタープラン)

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
商店街エリアを中心とした歩行者通行量	人/日	小倉都心部の主要地点における歩行者通行量	都心の賑わい(集客力)向上を定量的に把握するための指標	145,000	平成24年度	156,200	平成30年度
小倉都心部来街者の平均立ち寄り地区数	地区/人	小倉都心部来街者の都心部内における平均立ち寄り地区数(小倉都心地区来街者アンケート調査による)	都心部における回遊性向上を定量的に把握するための指標	2.37	平成24年度	3.02	平成30年度
小倉都心部における平均空き店舗率	%	小倉都心部内の主要商業集積エリアにおける平均空き店舗率	既存ストックの活用状況を定量的に把握するための指標	10.8	平成24年度	8.6	平成30年度
小倉都心部におけるJR・モノレール駅、市営渡船場のある年間利用者数	万人/年	JR小倉駅・西小倉駅、モノレール小倉駅・平和通駅・旦過駅・香春口三萩野駅、市営渡船場浅野港の年間乗降客数	多様な交通手段でのアクセス向上を定量的に把握するための指標	4,099	平成24年度	4,145	平成30年度
小倉都心部における観光客数	万人/年	小倉都心部における観光客数	都心の賑わい(集客力)向上を定量的に把握するための目標	565.9	平成27年度	638.0	平成30年度
夜間景観整備エリアを中心とした夜間の歩行者通行量	人/日	小倉都心部の夜間景観整備エリアにおける夜間の歩行者通行量	都心の賑わい(集客力)向上を定量的に把握するための目標	6,423	平成29年度	6,746	平成30年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p><b>整備方針1（個性的な魅力により多くの人を惹きつける、賑わいのある都心をつくる。）</b></p> <p>○継続的なイベントの実施や、歴史・文化施設の改善・特徴的な催事の開催、コンベンション施設の利用促進などを実施するとともに、積極的なPR活動を推進していくことで、まちの魅力向上やまちのイメージアップを図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝山公園整備事業(小倉城周辺整備) &lt; 基幹事業:公園事業 &gt;</li> <li>・紫川展望デッキ改修事業 &lt; 基幹事業:高質空間形成施設 &gt;</li> <li>・北九州市漫画ミュージアム関連事業 &lt; 提案事業:地域創造支援事業 &gt;</li> <li>・小倉都心賑わい創出事業 &lt; 提案事業:まちづくり活動推進事業 &gt;</li> <li>・(仮称)浅野町緑地整備事業 &lt; 基幹事業:地域生活基盤施設 &gt;</li> <li>・埋蔵文化財センター展示室再整備事業 &lt; 提案事業:地域創造支援事業 &gt;</li> <li>・地域資源情報発信事業&lt;地域創造支援事業&gt;</li> </ul>
<p><b>整備方針2（都心部内の回遊を促進していくことで、まち全体への賑わいの面的な拡大を図る。）</b></p> <p>○高質な歩行空間の拡充などにより、歩行者の回遊を促す安全・快適なネットワークの形成・強化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大門木町線(大手町工区) &lt; 基幹事業:道路事業(街路) &gt;</li> <li>・室町大門線 &lt; 基幹事業:道路事業(街路) &gt;</li> <li>・市道浅野33号線 &lt; 基幹事業:道路事業(道路) &gt;</li> <li>・小倉駅周辺交通アクセス環境整備事業 &lt; 基幹事業:高質空間形成施設 &gt;</li> <li>・勝山通り景観整備事業 &lt; 基幹事業:高質空間形成施設 &gt;</li> <li>・大手町馬借1号線景観整備事業 &lt; 基幹事業:高質空間形成施設 &gt;</li> <li>・城内木町線 &lt; 基幹事業:道路事業(道路) &gt;</li> <li>・市道浅野1号線横断歩道橋整備事業 &lt; 基幹事業:高質空間形成施設 &gt;</li> <li>・新幹線口東地区交通アクセス環境整備事業 &lt; 基幹事業:地域生活基盤施設 &gt;</li> <li>・小倉城周辺アクセス環境整備事業&lt;高質空間形成施設&gt;</li> <li>・船場町にぎわい広場整備事業&lt;地域生活基盤施設&gt;</li> <li>・夜間景観魅力向上事業&lt;高質空間形成施設&gt;</li> </ul>
<p><b>整備方針3（遊休不動産などを有効活用していくことで、昼間人口の増加等によるまちの活力向上を図る。）</b></p> <p>○都心部内の空き地や空きビル、空き店舗などの有効活用を推進することで、新たな産業の育成や雇用の場の創出を図ることで、安定的な賑わいの確保につながる昼間人口の増加を図る。</p> <p>○また、これにより賑わいの分断要素や治安上の不安要素となる空き店舗などの解消を進めるとともに、居住人口の増加にもつなげていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小倉地区低未利用地活用推進事業 &lt; 提案事業:まちづくり活動推進事業 &gt;</li> <li>・リノベーションまちづくり推進事業 &lt; 提案事業:まちづくり活動推進事業 &gt;</li> </ul>
<p><b>整備方針4（様々な交通手段により、都心部に円滑にアクセス可能な交通環境の形成を図る。）</b></p> <p>○自動車や徒歩・自転車、電車・バスはもちろんのこと、航路なども含めた様々な交通手段により、都心部に円滑にアクセス可能な交通環境の形成を図る。</p> <p>○環境負荷低減等に資する技術などを積極的に活用した、都市基盤等の整備を進める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紫川東線外 &lt; 基幹事業:道路事業(街路) &gt;</li> <li>・大門木町線(大手町工区):再掲 &lt; 基幹事業:道路事業(街路) &gt;</li> <li>・室町大門線:再掲 &lt; 基幹事業:道路事業(街路) &gt;</li> <li>・市道浅野33号線:再掲 &lt; 基幹事業:道路事業(道路) &gt;</li> <li>・勝山通り景観整備事業:再掲 &lt; 基幹事業:高質空間形成施設 &gt;</li> <li>・大手町馬借1号線景観整備事業:再掲 &lt; 基幹事業:高質空間形成施設 &gt;</li> <li>・新船建造事業 &lt; 提案事業:地域創造支援事業 &gt;</li> <li>・城内木町線:再掲 &lt; 基幹事業:道路事業(道路) &gt;</li> <li>・(仮称)浅野町緑地整備事業:再掲 &lt; 基幹事業:地域生活基盤施設 &gt;</li> <li>・市道浅野1号線横断歩道橋整備事業:再掲 &lt; 基幹事業:高質空間形成施設 &gt;</li> <li>・新幹線口東地区交通アクセス環境整備事業 &lt; 基幹事業:地域生活基盤施設 &gt;</li> </ul>
<p>その他</p>	

様式3 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費	3,518.9	交付限度額	1,583.5	国費率	0.45
---------	---------	-------	---------	-----	------

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分		交付対象事業費	費用便益比B/C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分		
道路	街路	柴川東線外	北九州市	直	420m	H3	H27	H26	H27	10,173	206.0	206.0	0.0	206.0	—
		大門木町線(大手町工区)	北九州市	直	230m	H22	H28	H26	H28	950	338.8	338.8	0.0	338.8	—
道路	市道	室町大門線	北九州市	直	200m	H22	H28	H27	H28	1,900	137.7	137.7	0.0	137.7	—
		市道浅野33号線	北九州市	直	125m	H22	H26	H26	H26	201.5	201.5	201.5	0.0	201.5	—
		市道城内木町1号線	北九州市	直	290m	H27	H27	H27	H27	114.5	114.5	114.5	0.0	114.5	—
道路(都市再構築戦略事業)		勝山公園整備事業(小倉城周辺整備)	北九州市	直	—	H26	H30	H28	H30	3,725	205.0	205.0	0.0	205.0	—
公園(都市再構築戦略事業)															
古都及び緑地保全事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設		(仮称)浅野町緑地整備事業	北九州市	直	—	H27	H28	H27	H28	380.3	380.3	380.3	0.0	380.3	—
高気空間形成施設		新幹線口東地区交通アクセス環境整備事業	北九州市	直	—	H27	H28	H28	H28	1500.0	300.0	300.0	0.0	300.0	—
		船場町にぎわい広場整備事業	北九州市	直	—	H29	H30	H29	H30	523.0	175.0	175.0	0.0	175.0	—
		紫川展望デッキ改修事業	北九州市	直	—	H26	H30	H26	H27	25.6	25.6	25.6	0.0	25.6	—
		小倉駅周辺交通アクセス環境整備事業	北九州市	直	—	H26	H30	H26	H30	400.0	400.0	400.0	0.0	400.0	—
		勝山通り景観整備事業	北九州市	直	—	H26	H26	H26	H26	324.0	40.0	40.0	0.0	40.0	—
		大手町馬場1号線景観整備事業	北九州市	直	—	H26	H26	H26	H26	110.0	31.0	31.0	0.0	31.0	—
		市道浅野1号線横断歩道橋整備事業	北九州市	直	—	H26	H28	H27	H28	308.2	308.2	308.2	0.0	308.2	—
		小倉城周辺アクセス環境整備事業	北九州市	直	—	H29	H30	H29	H30	103.0	103.0	103.0	0.0	103.0	—
		夜間景観魅力向上事業	北九州市	直	—	H30	H30	H30	H30	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	—
		高次都市施設													
中心拠点誘導施設															
生活拠点誘導施設															
高齢者交流拠点誘導施設															
既存建造物活用事業(中心拠点誘導施設)															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
地区再開発事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型	沿道等整備型													
		密集住宅市街地整備型													
		耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計									20,788.1	3,016.6	3,016.6	0.0	3,016.6	—	

提案事業(継続地区の場合のみ記載)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分		交付対象事業費	費用便益比B/C	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分			
地域創造支援事業	イベント運営支援	北九州市漫画ミュージアム関連事業	北九州市	直	—	H26	H28	H26	H28	124.0	103.8	103.8	0.0	103.8	—	
		新船建造事業	北九州市	直	—	H26	H27	H26	H27	260.0	71.5	71.5	0.0	71.5	—	
		歴史・文化施設改善	埋蔵文化財センター展示室再整備事業	北九州市	直	—	H25	H28	H27	H28	19.7	19.7	19.7	0.0	19.7	—
		歴史・文化施設改善	地域資源情報発信事業	北九州市	直	—	H29	H30	H29	H30	150.0	150.0	150.0	0.0	150.0	—
まちづくり活動推進事業	事業効果分析	事業効果分析業務	北九州市	直	—	H30	H30	H30	H30	3.0	3.0	3.0	0.0	3.0	—	
		イベント運営支援	小倉都心賑わい創出事業	北九州市	直	—	H26	H28	H26	H28	110.9	110.9	110.9	0.0	110.9	—
		遊休不動産等有効活用	小倉地区低未利用地活用推進事業	北九州市	直	—	H26	H28	H26	H28	23.3	23.3	23.3	0.0	23.3	—
合計									731.2	502.3	502.3	0.0	502.3	—		

合計(A+B) 3,518.9

提案事業割合(B/C) 14.30%

(参考)関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
街路	砂津長浜線	北九州市	国土交通省	L=720m		○			H10	H27	33,939
道路	国道199号砂津バイパス	北九州市	国土交通省	L=670m		○			H20	H27	5,918
道路(効果促進事業)	自転車共同利用支援事業	北九州市	国土交通省			○			H24	H30	342
合計	観光情報ステーション	北九州市	内閣府			○			H29	H30	350
合計											40,549

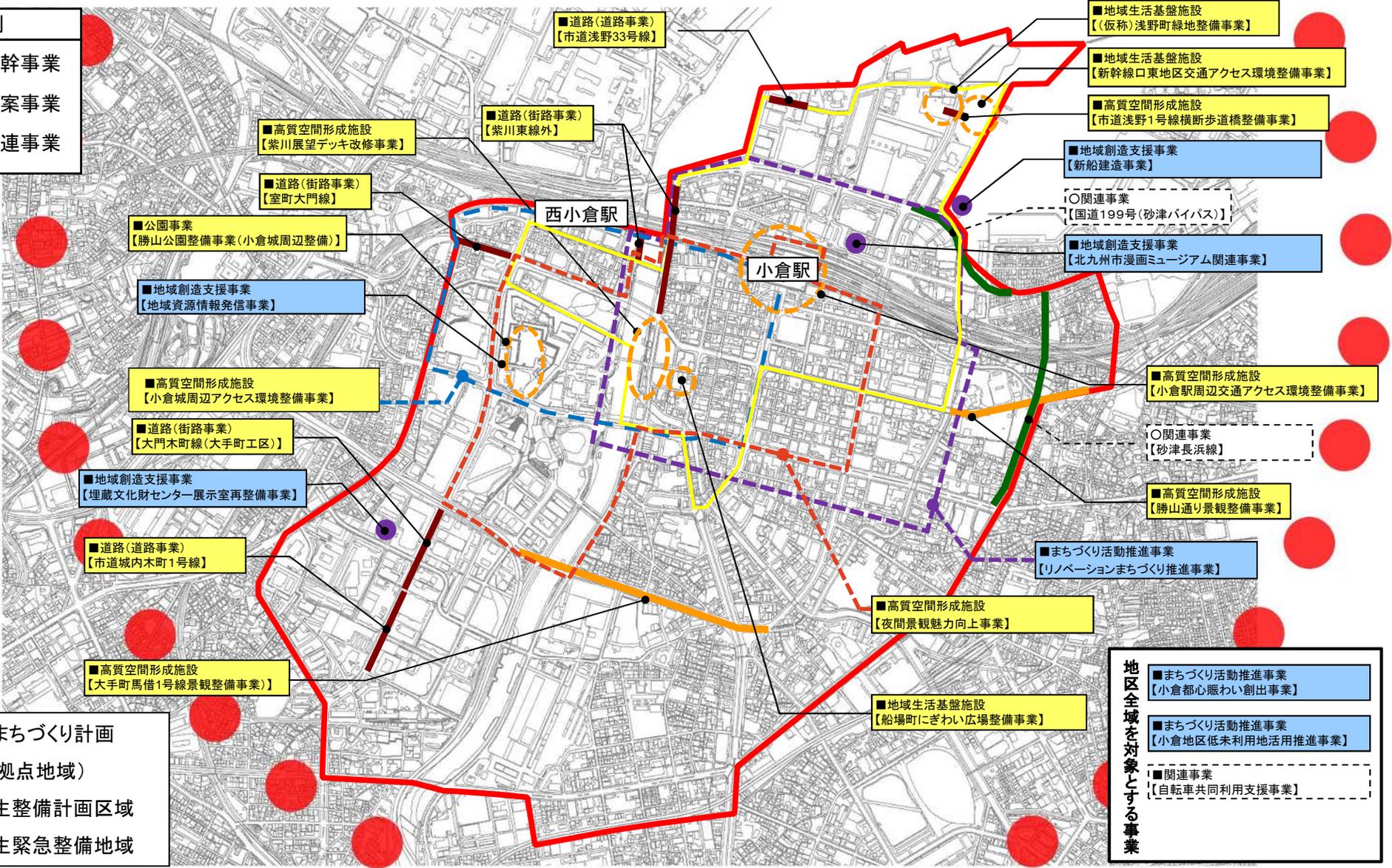
≤ 19%

# 小倉都心地区(福岡県北九州市) 整備方針概要図

目標	小倉都心部の魅力を高め、集客活性化を図るため、北九州200万都市圏の中核に相応しい高次な都市機能の充実と、都心部の賑わいづくりを推進する。	代表的な指標	商店街エリアを中心とした歩行者通行量 (人/日)	145,000 (H24年度)	→	156,200 (H30年度)
			小倉都心部来街者の平均立ち寄り地区数 (地区/人)	2.37 (H24年度)	→	3.02 (H30年度)
			小倉都心部における平均空き店舗率 (%)	10.8 (H24年度)	→	8.6 (H30年度)
			小倉都心部におけるJR・モノレール駅、市営渡船場の年間利用者数 (万人/年)	4,099 (H24年度)	→	4,145 (H30年度)
			小倉都心部における観光客数 (万人/年)	565.9 (H27年度)	→	638.0 (H30年度)
			夜間景観整備エリアを中心とした夜間の歩行者通行量 (人/日)	6,423 (H29年度)	→	6,746 (H30年度)

**凡例**

- 基幹事業
- 提案事業
- - - 関連事業



- 低炭素まちづくり計画 (集約拠点地域)
- 都市再生整備計画区域
- 都市再生緊急整備地域

**地区全域を対象とする事業**

- まちづくり活動推進事業【小倉都心賑わい創出事業】
- まちづくり活動推進事業【小倉地区低未利用地活用推進事業】
- - - 関連事業【自転車共同利用支援事業】